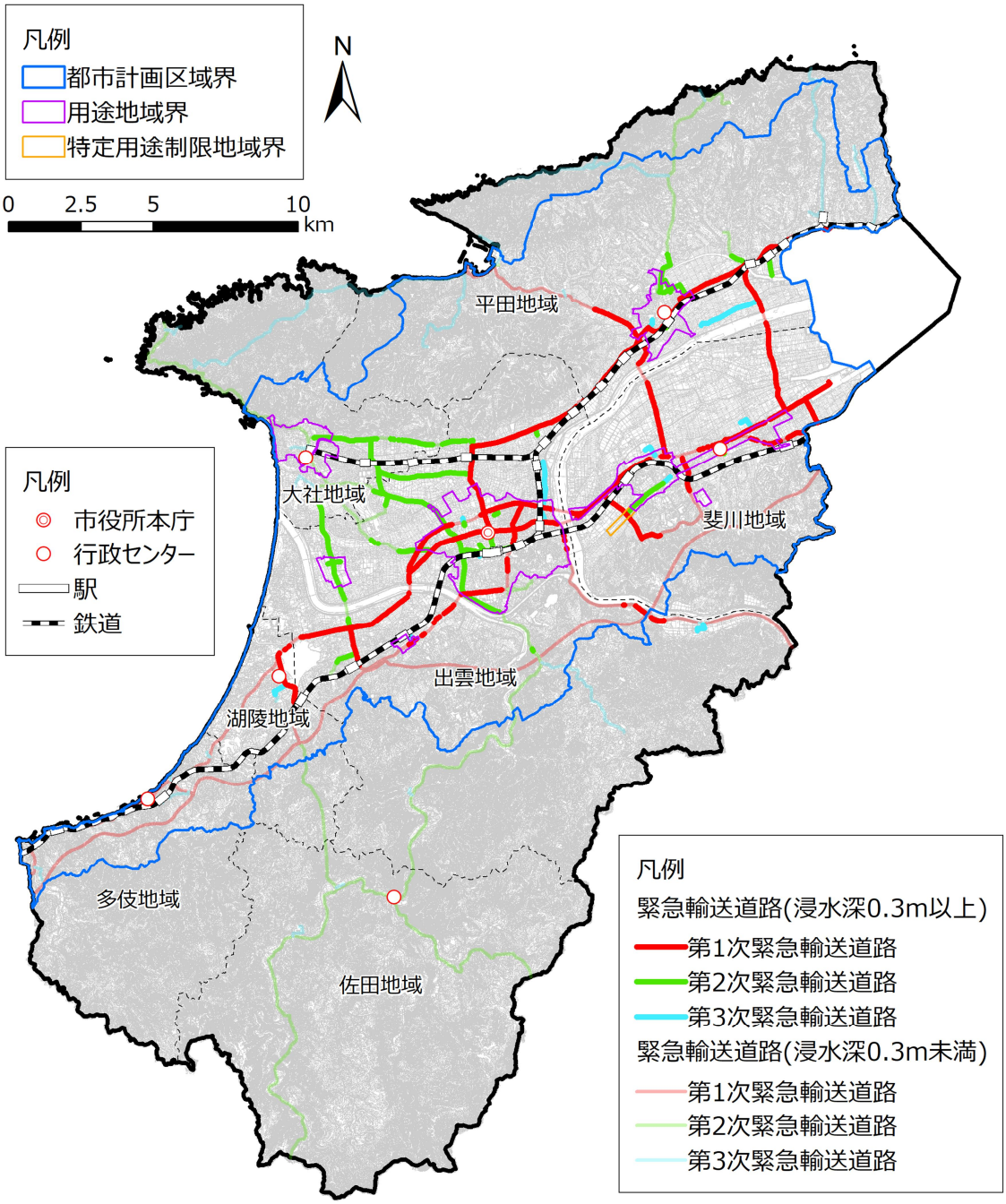
5）洪水浸水想定区域（想定最大規模 L2）×緊急輸送道路

市内に指定されている緊急輸送道路ネットワークのうち、第 1 次緊急輸送道路を中心に、広い範囲で浸水深 0.3m以上のエリアに含まれる区間が点在しています。

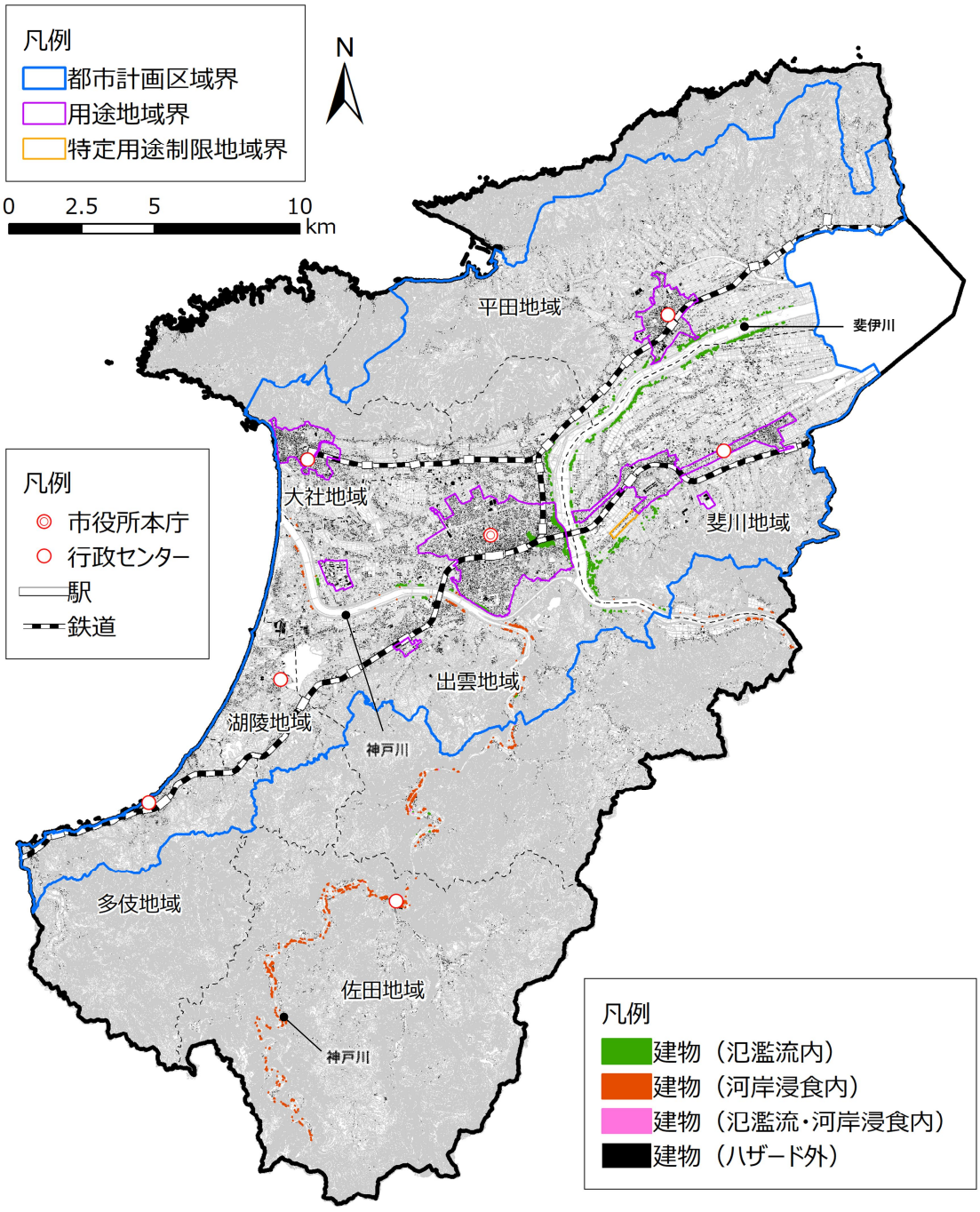
《洪水浸水想定区域（想定最大規模 L2）×緊急輸送道路》



3）家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸浸食）×建物

斐伊川沿岸において、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）内に多くの建物が立地しています。
また神戸川沿いにおいては、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）内に建物が立地しています。

《家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸浸食）×建物》

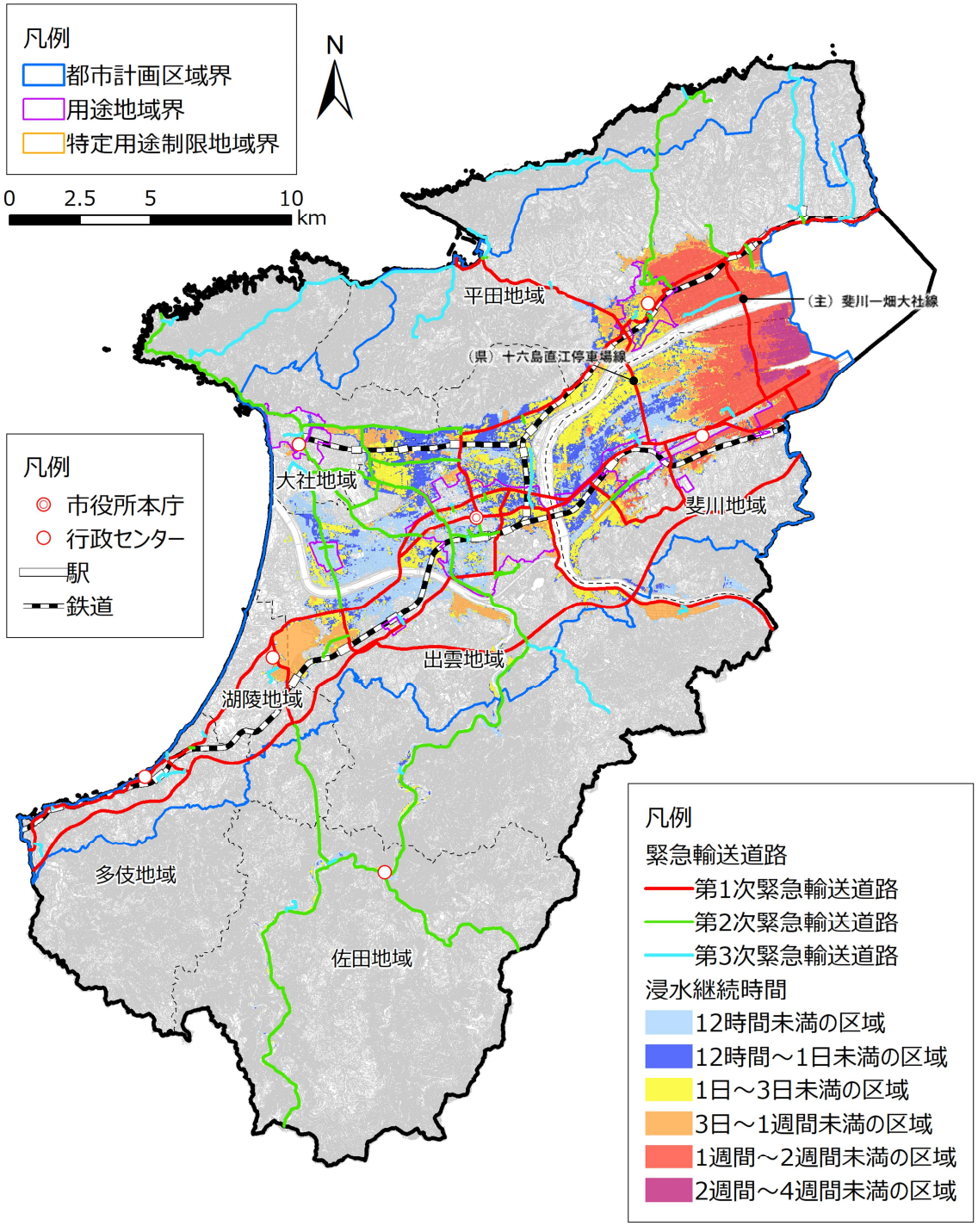


4）浸水継続時間×緊急輸送道路

市内に指定されている緊急輸送道路の多くが洪水浸水区域内に位置していますが、浸水継続時間は多くの区間において１日未満となっています。

ただし、斐伊川下流域において平野部を南北に横断する（主）斐川一畑大社線や（県）十六島直江停車場線では、大半の区間の浸水継続時間が１日以上となっています。

《浸水継続時間×緊急輸送道路》



5）土砂災害（特別）警戒区域・地すべり防止区域・急傾斜地崩壊危険区域

1）土砂災害（特別）警戒区域・地すべり防止区域・急傾斜地崩壊危険区域×人口分布

土砂災害警戒区域等に含まれる人口居住メッシュは全ての地域に分布しており、特に出雲、平田、大社、斐川地域の山地部と平地部の境では、用途地域を含む広い範囲で帯状に分布しています。

上記 4 地域の用途地域において土砂災害警戒区域等に含まれるメッシュの概ね人口は、出雲地域が 40～50 人/ha、平田地域及び斐川地域が 30～50 人/ha、大社地域が 20～40 人/ha となっています。

《土砂災害警戒区域等のハザード×人口分布》

